

追加資料 武蔵野市子どもの権利に関する条例素案の枠組みのイメージ

ー「骨子案」作成のために

2021年11月9日第4回条例検討委員会 喜多 明人

＊条例構成上の「枠組み」を考える一骨子案（素案）作成のために

（大上委員委員会前意見、水野委員意見書等をふまえて）

＊荒牧重人・喜多明人・半田勝久編『解説子ども条例』三省堂、2012年を参考にした。

<条例案の基本的な枠組みイメージ>

1 前文

＊ムサカツ情報提供（子どもの言葉を直接条例前文に盛り込む例：日進市）

2 総則

（第1回検討委員会で情報提供）

○目的

○定義

○市の責務

○総合的な子ども支援—縦割り行政の改善・克服

○重層的な子ども支援—国・都・武蔵野市・地域（民間団体等）の重層的支援

○継続的な子ども支援—乳幼児期、児童期、若者期から成人期への切れ目のない支援

3 保障すべき子どもの権利（その理念・目的・考え方）

3－1）子どもにとって大切な子どもの権利とは

○安心して生きる権利

＊子どもの権利アンケート・橋詰委員いじめ予防授業

—子どもの権利としての安心・自信・自由（CAP授業）

○差別されない権利

○戦争に巻き込まれないで平和に生きる権利

＊子どもの権利アンケートから

—以上の3つの権利＝8割近い子どもが求める「三大権利」

（水野委員意見書等）

○遊ぶ権利

○学ぶ権利

＊子どもの居場所、みらいる視察から

—自分らしく生きるための学びと居場所、自分を取り戻すための学校外の居場所の必要性

○休息する権利と自由な時間を持つ権利

○安心して相談する権利

○子どもの意見表明・参加する権利（第4回委員会の委員長提言）（自信をもって自由に生きる権利の土台）

3－2）子どもの権利の普及・学習

○子どもの権利の広報・普及

○子どもの権利に関する研修と学習

○子ども参加のための権利学習

4 誰が保障するのか（保障主体と役割・責務）

4-1）家庭、保護者、代替的な家庭等

4-2）学校ほか、子ども支援・ケア施設等

*SSWrとの意見交換会

4-3）地域・市民民間団体（NPO）等

4-4）子どもを支える人びとの支援と連携

○家庭・学校・地域の連携と相互支援—開かれた学校づくり協議会など

○家庭支援—「貧困・格差」、児童虐待への対応

○学校支援—福祉的支援の拡充（SSWrの意義）

○地域・民間団体支援—委託事業の拡充等

○過剰な叱責等、ハラスメント行為からの子どもの保護（子どもの権利学習等）

*水野委員意見書から

○地域の人びとの「子どもの権利」・ジェンダー学習

*大上委員委員会前意見から

4-5）市民協働、公民連携等

*子ども支援団体との意見交換会から

○子ども支援団体の連携・ネットワークと市との協働

—子ども支援における市民協働・公民連携の意義、役割（民間の経験・実践蓄積の活用）

4-6）子ども・若者自身が権利保障主体であること

*子ども参加（第4回委員会—委員長提案）

5 子どもの権利保障の仕組みを創る（制度・条件整備・行財政等）

5-1）子どもの居場所

（第3回検討委員会のテーマ）

○市民協働による多様な居場所づくり

○地域、学校外の子どもの居場所と公的支援

○学校と子どもの居場所づくりの支援

*子どもの権利アンケートから

—ヤングケアラーの発見、相談、支援

*大上委員委員会前意見より

—不登校問題における「認識のズレ」の問題

○子どもと共に生きる—高齢者等との共存の可能性

*子ども支援団体との意見交換会

—コミセン運営と子ども支援

○子ども独自の居場所づくり

—とくに中高生の居場所を創る

*杉並区「ゆう杉並」（中高生専用の児童館）

○子ども参加による居場所づくり

児童館における「子ども企画運営委員会」（杉並区、茅野市）

—地域施設における子どもの運営参加

5－2）子どもの相談（安心してつながる、関係づくり）

＊子どもの相談と居場所との不可分性（水野委員意見書等）

○市民協働による子ども・若者との「つながり」を創る

＊むさしのプレーパーク視察から

○様々なダメージを受けている子どもの相談（SOS）と支援者の役割（発見型相談）

＊みらいるほかの若者支援の現場視察から

―子ども支援スタッフの「先細り」問題など

○「救済につながる、つなげる相談」の意義・役割の自覚と仕組みづくり

5－3）子どもの参加

（第4回検討委員会・委員長提言）

6 子どもの権利侵害の相談・救済の仕組み―第三者的相談救済機関の創設

○いじめ相談のしくみづくり

（第2回検討委員会のテーマ）

○いじめ被害者・家族との情報共有、意向の尊重（文科省「学校事故対応の指針」（2016年3月通知）

○いじめ防止対策推進法の「詳細調査」（第三者調査委員会の設置）との関係

＊町田市のいじめ自死事件と第三者調査委員会問題

（大上委員、委員会前意見など）

○いじめ予防と子どもの権利学習

＊橋詰委員によるいじめ予防授業

7 子どもの権利を保障する市の施策づくりとその水準維持・発展（第5回委員会以降）

―子ども総合計画の策定・推進と評価・検証の仕組みづくり―

○子ども計画の策定方法

○子ども計画の推進方法

○子ども計画実施結果の評価・検証方法

8 雑則

以上